

友人との手紙

おおい のぶる

大類 伸 1884-1975 歴史学者・城郭研究者

第一高等学校・東京帝国大学史学科・同大学院卒業。
フランス・ドイツ・イタリアに留学し、中世文化史・ルネサンス史の先駆者。同大講師・助教授を経て、1924年より東北帝国大学教授・同名誉教授。学士院会員。大類は呉建と一高の寄宿舎が同室の友人であり、養父の大類久徴は大蔵属で武男の父寺崎遜と友人であった。父子二代にわたり友情を深め、伸と武男はイタリアでの史跡巡りや調査スケッチに同行している。

大類伸は、ヴェネチアに滞在していた武男とともに、イタリア各地をめぐり、その紀行文を雑誌『太陽』に連載した。道中、武男は多くのスケッチを描き、その一部は大類の著書『伊太利みやげ～美術をたづねて』に収められている。大類のイタリア美術史研究の業績は、武男の存在が大きかったと思われる。

<1920(T9).9.29> No.4

大類伸（東京）→ 寺崎武男（ヴェネチア）

「…イタリア旅行を大兄と一緒に出来るのを最大の幸福。旅費支出は本屋に相談したが、何とかなるだろう。来年3/4出発しパリ滞在、秋にイタリアに入る予定。…」

<1921(T10).9.7> No.9

大類伸（ベルリン）→ 寺崎武男（ヴェネチア）

「…8/26, 28 ハガキ拝受。14日ベルリン発、15日ベニス着。ベニス一週間滞在、ラヴェンナなど1週間旅行、10/1にローマへ…」

<1921(T10).11.6> No.12

大類伸（ローマ）→ 寺崎武男（ヴェネチア）

「…11/18から2週間フィレンツェへ。其時ラヴェンナにも行きたいが、そこで大兄と会い、一緒に見物如何か。…」

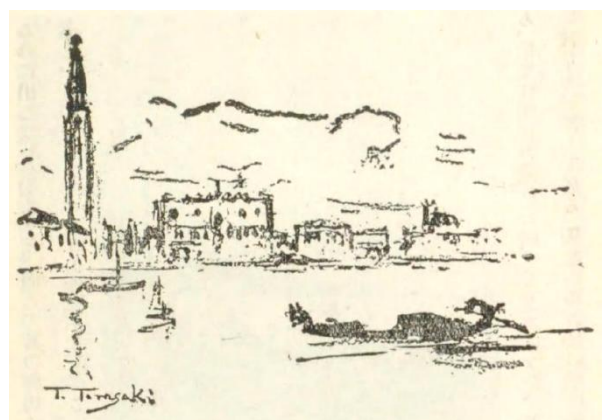
<1922(T11).1.17> No.19

大類伸（ローマ）→ 寺崎武男（ヴェネチア）

「…一昨日ローマに帰ってきた。旅行は貴兄のお陰で万事好都合…」



大類伸 著 1927年
『伊太利みやげ
～美術をたづねて』



<1922(T11).10.15> No.32

大類伸（ローマ）→ 寺崎武男（ヴェネチア）

「…イタリアの様子が『太陽』8月号に第1回掲載、5回くらい連載されるだろう…」

